

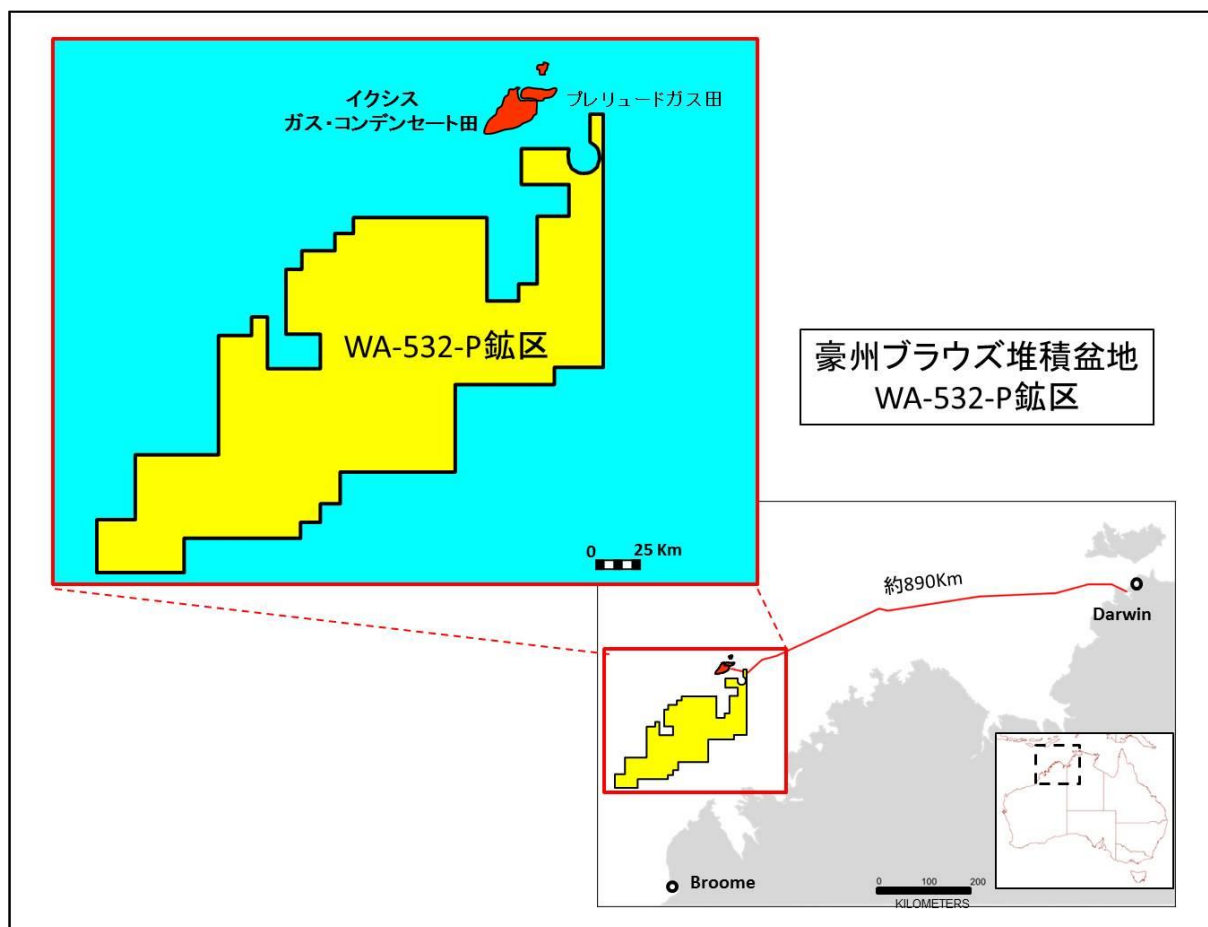
平成 29 年 11 月 2 日

各 位

会社名 国際石油開発帝石株式会社
代表者名 代表取締役社長 北村 俊昭
(コード番号 1605 東証第一部)
問合せ先 広報・IR エグゼクティブ・マネージャー 細野 宗宏
電話番号 03-5572-0233

オーストラリア 西豪州沖合 探鉱区 (WA-532-P) の落札について

国際石油開発帝石株式会社 (以下、当社) は、当社子会社の INPEX Browse E&P Pty Ltd (以下、IBEP社) を通じて、このたび実施された 2016 年オーストラリア探鉱区公開入札において、オペレーターとしてオーストラリア西豪州沖合に位置する探鉱区 (WA-532-P。以下、本鉱区) を単独で落札しましたので、お知らせいたします。



WA-532-P 鉱区ロケーション

国際石油開発帝石株式会社

INPEX CORPORATION

本鉱区は、西豪州の北方沖合に位置し、鉱区面積は約26,300平方キロメートル、水深は約60メートル～250メートルの海域にあります。本鉱区ではIBEP社が100パーセントの権益を保有し、今後探鉱作業を推進してまいります。

本鉱区は、当社グループ会社がオペレーターとして開発作業を推進しているイクシスガス・コンデンセート田（イクシスLNGプロジェクト）近傍に位置しており、また周辺で当社が権益を保有する複数の鉱区において有望なガス田等が発見・開発されております。本鉱区においてもガス及びコンデンセートに加えて原油の胚胎のポテンシャルが高い探鉱有望エリアに位置すると考えられます。

今回の本鉱区の落札により、イクシス ガス・コンデンセート田の周辺に位置するIBEP社を含めた当社グループ会社保有の探鉱鉱区は合計18鉱区となります。イクシス ガス・コンデンセート田の周辺鉱区での積極的な探鉱活動は、イクシスLNGプロジェクトの将来価値の拡大を図るとの当社方針に沿うものであり、また、当社の中長期ビジョンに掲げた成長目標の一つである「上流事業の持続的拡大」に資することが期待されます。

当社は今後とも、オーストラリアをはじめ、アジア・オセアニア地域での事業展開に積極的に取り組んで参ります。

なお、本件による当社連結業績への影響は軽微であります。

以上